

科目ナンバリング		G-LET17 63331 LJ36									
授業科目名 <英訳>		ドイツ語学ドイツ文学(特殊講義) German Language and Literature (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 岡田 暁生			
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 後期	曜時限	火3	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目		モーツァルトと21世紀について									
【授業の概要・目的】											
音楽史で最大の天才として名高いモーツァルトであるが、その不滅性は作品の「美的な質」にあるだけではない。21世紀の今日なお彼の音楽は、極めてアクチュアルな時代の問いを我々につきつけてくる。この講義ではモーツァルトの音楽を通して、我々が直面している21世紀的な諸問題を考える。											
【到達目標】											
この講義ではモーツァルトに「ついて」というより、むしろモーツァルトを「通して」、現代芸術の諸問題について考える。単なる知識ではなく、身近でアクチュアルな問題について一人一人が自分自身で思索することを望む。											
【授業計画と内容】											
1 - 3回：モーツァルトを胎教に使ってはいけない（美の冷酷さおよび「人間性」の概念について）											
4 - 9回：AIはモーツァルトをシミュレーションできるか（アドリブ精神（Takt）および時間芸術の諸問題について）											
10 - 12回：音楽が時間芸術だということの意味（独創性という概念の歴史、「表現」と「提示」の違いについて）											
13 - 15回：光を追いかけるアインシュタインの夢（芸術のアクチュアリティと未来性について）											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
レポートによる。評価は到達目標の達成度に基く。独自の工夫が見られるものについては、高い点を与える。単なる既知情報のまとめではなく、各自の明快な問題意識およびその展開を最重視する。											
----- ドイツ語学ドイツ文学(特殊講義)(2)へ続く -----											

ドイツ語学ドイツ文学(特殊講義)(2)

[教科書]

使用しない
毎回レジメを配る予定

[参考書等]

(参考書)
岡田暁生 『恋愛哲学者モーツァルト』 (新潮社)

[授業外学習(予習・復習)等]

授業中に言及した音楽についてYoutubeなどで適宜聴いておくこと。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。